



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 京阪電気鉄道株式会社
 コード番号 9045 URL <http://www.keihan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 好文
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括室 経理部長 (氏名) 長濱 哲郎
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6944-2527

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	208,953	4.4	21,889	16.4	19,348	22.4	13,000	34.4
25年3月期第3四半期	200,188	7.1	18,798	38.4	15,811	53.5	9,674	41.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 17,154百万円 (73.3%) 25年3月期第3四半期 9,898百万円 (△3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	23.12	—
25年3月期第3四半期	17.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	665,231	172,351	25.5
25年3月期	653,462	158,121	23.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 169,478百万円 25年3月期 155,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,500	0.5	21,100	△9.4	17,700	△6.5	11,300	2.0	20.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	565,913,515 株	25年3月期	565,913,515 株
26年3月期3Q	3,704,527 株	25年3月期	3,546,087 株
26年3月期3Q	562,310,594 株	25年3月期3Q	562,400,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の不確実性が引き続き大きいものの、政府の経済政策や日本銀行の金融政策の効果により、企業収益等に改善の動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,089億5千3百万円（前年同期比87億6千5百万円、4.4%増）、営業利益は218億8千9百万円（前年同期比30億9千1百万円、16.4%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は193億4千8百万円（前年同期比35億3千7百万円、22.4%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等を控除した四半期純利益は130億円と、前年同期に比較して33億2千6百万円（34.4%）の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を一部変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の状況

	営業収益			営業利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運輸業	67,905	67,639	△0.4	6,421	7,018	9.3
不動産業	47,514	56,602	19.1	9,082	11,025	21.4
流通業	72,783	71,484	△1.8	1,904	2,113	10.9
レジャー・サービス業	20,480	21,458	4.8	1,358	1,690	24.4
その他の事業	1,123	1,211	7.8	3	△6	—
計	209,806	218,395	4.1	18,771	21,841	16.4
消 去	△9,618	△9,441	—	26	47	—
連 結	200,188	208,953	4.4	18,798	21,889	16.4

①運輸業

鉄道事業における当第3四半期連結累計期間の当社の運輸成績は、総旅客数は2億1,130万人と、前年同期に比較して64万人（0.3%）の減少となり、これに伴い、当社の旅客運輸収入は369億7千3百万円（前年同期比0.6%減）、これに運輸雑収を加えた鉄軌道事業営業収益は394億8百万円と、前年同期に比較して1億6千万円（0.4%）の減収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は676億3千9百万円と、前年同期に比較して2億6千5百万円（0.4%）の減収となりましたが、経費の節減に努めたことなどにより、営業利益は70億1千8百万円と、前年同期に比較して5億9千7百万円（9.3%）の増益となりました。

(参考) 京阪電鉄旅客収入及び旅客数

		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期比較	
				増減	増減率
旅客収入		百万円	百万円	百万円	%
	定期外	25,326	25,107	△218	△0.9
	定期	11,884	11,864	△19	△0.2
	計	37,210	36,972	△237	△0.6
旅客数		千人	千人	千人	%
	定期外	109,273	108,559	△714	△0.7
	定期	102,669	102,742	73	0.1
	計	211,942	211,301	△641	△0.3

②不動産業

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「けいはんな公園都市」「東豊中プレミアム」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「堂島ザ・レジデンスマークタワー」「ファインシティ大阪城公園」「ファインフラッツ奈良町三条」「A s t a n d a r d 本郷三丁目」などを販売いたしました。

不動産賃貸業におきましては、平成24年10月26日に開業した「京阪くずは駅ビル南館」が通期で寄与いたしましたほか、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。

これらの結果、K U Z U H A M A L L 第2期開発計画の進捗に伴う賃貸収入の減少があったものの、不動産業全体の営業収益は566億2百万円と、前年同期に比較して90億8千7百万円(19.1%)の増収となり、営業利益は110億2千5百万円と、前年同期に比較して19億4千2百万円(21.4%)の増益となりました。

③流通業

流通業におきましては、各事業において積極的な営業活動に努めましたが、不採算店舗の撤退や、前年同期のK U Z U H A M A L L 第2期開発計画の進捗に伴う同施設の一部閉鎖などの影響もあり、流通業全体の営業収益は714億8千4百万円と、前年同期に比較して12億9千9百万円(1.8%)の減収となりました。一方、経費の節減に努めたことなどにより、営業利益は21億1千3百万円と、前年同期に比較して2億8百万円(10.9%)の増益となりました。

④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、円安を背景としたインバウンド旅客や教育旅行の誘致など、各ホテルにおいて積極的な営業活動を展開し、稼働率の向上及び収益力の強化に努めました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は214億5千8百万円と、前年同期に比較して9億7千8百万円(4.8%)の増収となり、営業利益は16億9千万円と、前年同期に比較して3億3千2百万円(24.4%)の増益となりました。

⑤その他の事業

その他の事業全体の営業収益は12億1千1百万円と、前年同期に比較して8千8百万円(7.8%)の増収となり、営業損失は6百万円と、前年同期に比較して1千万円の悪化となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、販売土地及び建物が増加したことなどにより、前連結会計年度末から117億6千8百万円(1.8%)増加し、6,652億3千1百万円となりました。

負債につきましては、工事代金等の支払いに伴い未払金が減少したことなどにより、前連結会計年度末から24億6千1百万円(0.5%)減少し、4,928億7千9百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から142億2千9百万円(9.0%)増加し、1,723億5千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は前回公表予想並に推移していく見込みであるため、現時点において、前回公表数値(平成25年10月29日)から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,851	20,309
受取手形及び売掛金	22,354	22,633
有価証券	347	1,607
販売土地及び建物	75,764	88,070
商品	1,733	2,095
繰延税金資産	2,637	2,050
その他	9,187	11,308
貸倒引当金	△280	△238
流動資産合計	134,596	147,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	182,195	177,617
機械装置及び運搬具（純額）	12,460	11,218
土地	222,783	223,167
建設仮勘定	26,004	31,945
その他（純額）	8,643	8,564
有形固定資産合計	452,086	452,512
無形固定資産	7,593	6,800
投資その他の資産		
投資有価証券	37,661	40,565
長期貸付金	395	389
繰延税金資産	2,333	1,595
その他	18,851	15,585
貸倒引当金	△54	△55
投資その他の資産合計	59,186	58,080
固定資産合計	518,866	517,392
資産合計	653,462	665,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,096	12,520
短期借入金	80,546	82,885
短期社債	1,000	—
1年内償還予定の社債	10,376	10,331
未払法人税等	4,777	2,931
繰延税金負債	0	0
前受金	24,091	25,885
賞与引当金	2,634	1,783
商品券等引換損失引当金	331	349
その他	43,086	36,116
流動負債合計	176,940	172,803
固定負債		
社債	70,987	70,736
長期借入金	160,942	161,914
長期未払金	2,238	840
繰延税金負債	8,530	9,948
再評価に係る繰延税金負債	36,189	36,184
退職給付引当金	14,558	14,838
役員退職慰労引当金	628	626
その他	24,325	24,987
固定負債合計	318,400	320,076
負債合計	495,340	492,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,818	28,819
利益剰余金	37,258	46,281
自己株式	△1,373	△1,436
株主資本合計	116,170	125,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,423	12,339
土地再評価差額金	30,842	32,008
その他の包括利益累計額合計	39,266	44,348
少数株主持分	2,685	2,872
純資産合計	158,121	172,351
負債純資産合計	653,462	665,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年12月31日)
営業収益	200,188	208,953
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	162,065	168,021
販売費及び一般管理費	19,325	19,042
営業費合計	181,390	187,064
営業利益	18,798	21,889
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	486	552
雑収入	597	653
営業外収益合計	1,095	1,215
営業外費用		
支払利息	3,607	3,245
持分法による投資損失	20	0
雑支出	455	510
営業外費用合計	4,083	3,756
経常利益	15,811	19,348
特別利益		
投資有価証券売却益	2	616
補助金	436	409
固定資産売却益	23	54
工事負担金等受入額	56	5
その他	68	—
特別利益合計	586	1,085
特別損失		
固定資産除却損	102	122
固定資産売却損	182	96
固定資産圧縮損	67	20
減損損失	11	12
特別退職金	12	11
投資有価証券評価損	4	—
投資有価証券売却損	3	—
特別損失合計	384	264
税金等調整前四半期純利益	16,013	20,169
法人税、住民税及び事業税	5,217	6,273
法人税等調整額	888	664
法人税等合計	6,105	6,938
少数株主損益調整前四半期純利益	9,907	13,231
少数株主利益	232	230
四半期純利益	9,674	13,000

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,907	13,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	3,922
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△9	3,922
四半期包括利益	9,898	17,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,667	16,917
少数株主に係る四半期包括利益	230	237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	66,874	39,760	72,397	20,453	702	200,188	—	200,188
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,030	7,754	385	26	420	9,618	(9,618)	—
計	67,905	47,514	72,783	20,480	1,123	209,806	(9,618)	200,188
セグメント利益	6,421	9,082	1,904	1,358	3	18,771	26	18,798

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	66,617	48,937	71,194	21,433	769	208,953	—	208,953
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,021	7,664	289	25	441	9,441	(9,441)	—
計	67,639	56,602	71,484	21,458	1,211	218,395	(9,441)	208,953
セグメント利益又は損失(△)	7,018	11,025	2,113	1,690	△6	21,841	47	21,889

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「運輸業」セグメントで管理していた(株)京阪エンジニアリングサービスを、管理区分の変更に伴い「不動産業」セグメントへ移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。